

月 日 ( )  
『すみれとあり ②』

じゅんぴするもの きょうか書(41ページ〜49ページ) かんじぐんぐんスキル

①きょうか書 四十二ページから 四十六ページを 音読しましょう。

前よりスラスラと読めたかな？  
かん字の読み方はだいじょうぶかな？

②ぜんかいの ふくしゅうを しましょう。すみれの 花は どんなところ に さいて いますか。  
きょうか書 四十二ページを 読んで 三つ 書きましょう

③この文章を書いた人(ひつしやの やざまさん)が、ふしぎに思ったことは、なんでしょう。  
きょうか書 四十二ページから 見つけましょう。

◎「すみれとあり」のように、何かをせつめいする文章(せつめい文)には、「このような  
といかけの文が出てくるよ。」

④きょうか書 43ページを 読みながら、つぎの もんだいに こたえましょう。  
(1)すみれは、花をさかせたあと、どうなりますか。

(2)みの中には、何ができていますか。

(3)よくはれた日には、何がおこりますか。

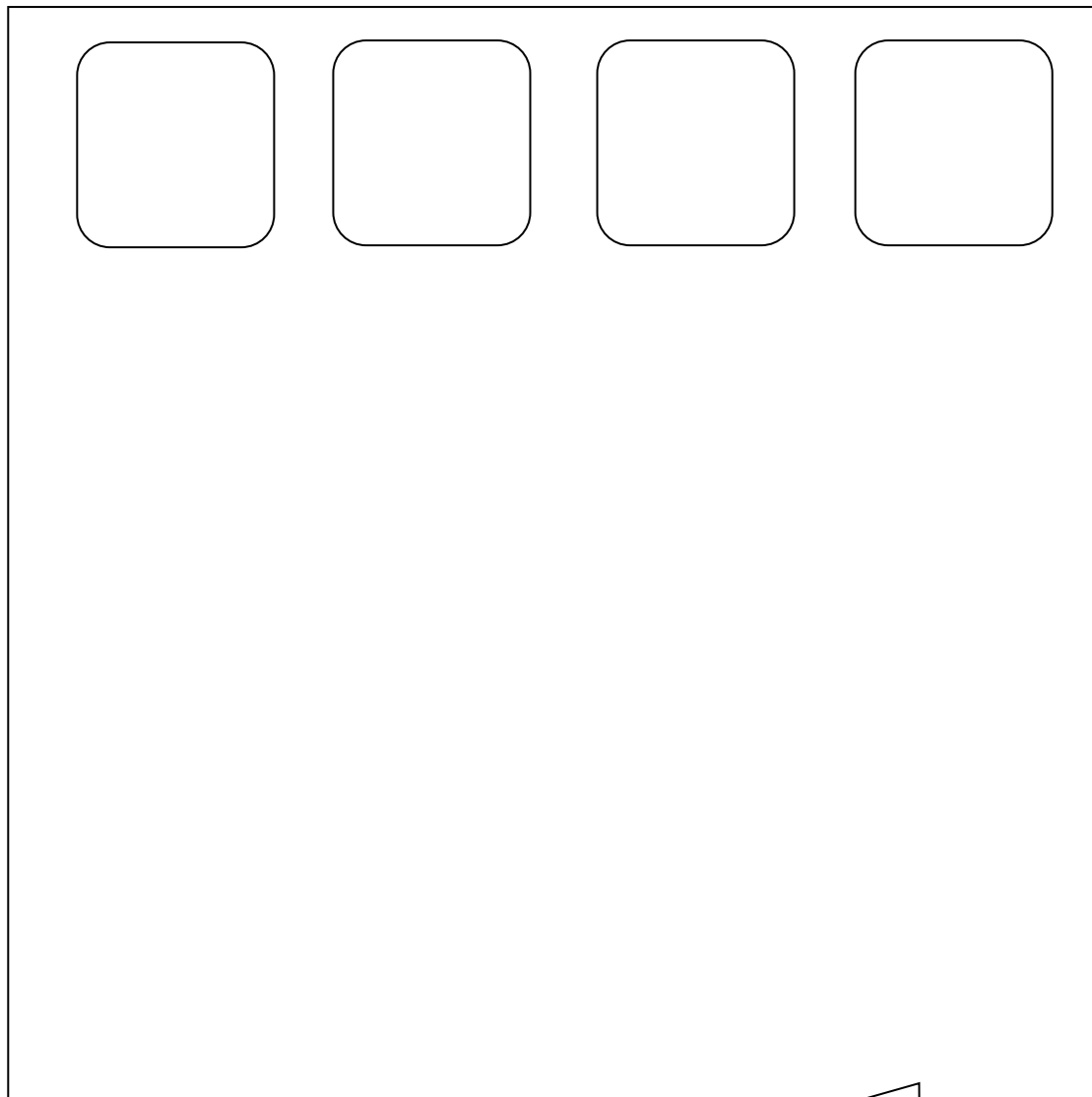
(4)(3)のことがおこったあと、何がどうなりますか。

(5)(4)のあと、何がどうなりますか。

⑤ すみれが、花をさかせたあと、どうなっていくか、自分の言葉でまとめよう。

※きょうか書四十三ページの写真を見てみよう。

※言葉につけたして、絵をかいたり、やじるしをつかったりしてもいいですよ。



むずかしいときは、④で書いたことを使ってみよう。

⑥ かんじぐんぐんスキルの十六ページにていねいに書きこみましょう。

⑦ 今日の学習<sup>がくしゅう</sup>をふりかえりましょう。

※がんばったことや、おもしろかったことなどを書きましょう。

